

殘留者名簿

官職	氏名	分離年月日	分離の場所	理由	備考
總領事	宮川 船夫	二、二、二四	ノホニコリスカ 收谷所	訊問の爲	モスコイに赴きたる模様
領事	太田 日出雄	同	同	同	同
領事	古屋 京正	二、一、一〇	ウオロイロフ こう外收谷所	同	同
副領事	道正 冥久	二、四、二六	ノホニコリスカ 收谷所	同	同
副領事	中村 殿三郎	二、三、一七	同	同	同
副領事	三井 義人	二、四、	同	同	同
理事官	水山 正秋	二、一、一六	ウオロシロフ こう外收谷所	同	同
書記生	柏楠 格	二、三、二六	ウオロシロフ 第七收谷所	不明	ハバロフスクに赴きたる模様
書記生	村上 善天	同	同	同	同

外務省

原書は左記に  
照二第五〇四号

昭和三十年十二月十日

外務省アジヤ局長

厚生省引揚援護局長 殿

独人帰還者のもたせられた宮川総領事の消息に  
関する件

本件に関し、在ドイツ加瀬大使よりの報告の内容を御参考まで  
左記のとおり通報する。

記

一九四一年まで在ソ独大使館書記官としてモスコウに駐在し去  
る十月帰還したウオルター・シムズ氏のもたらした宮川総領  
事の消息に関し、十一月十一日外務省ヒルガキ参事官の伝えると

外務省

記帳済